

事業所名 ふれ愛グループ にこにこらびット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対するスペースは適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			室内はバリアフリーになっています。送迎や活動の予定などボードや写真を使用し分かりやすくように整備しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			感染予防の為、定期的に喚起を実施。活動の際はホワイトボードや見本を見せながら分かりやすく説明をしたり、家具を移動し活動しやすいようにスペースを作っています。また、療育終了後には、その日使用した玩具等の消毒を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		役職者が中心となり業務改善を図っています。目標設定や振り返りについては、職員の意見や思いなど意見交換を行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方に 評価表の記載を依頼しています。保護者の方からの意見等に対して改善していけるように取り組んでいます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			職員全員が自己評価を行い内容について共有しています。保護者向け評価表と事業所としての評価表をホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していません。今後の検討課題となっています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		年に数回、内部研修を実施しています。外部研修も参加しているのですが、ここ数年は感染症の状況や研修の時間帯の調整がつかず参加することが出来ていません。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			独自のアセスメントツールを使用しています。関係機関からの情報や保護者の要望等を聞き取り、より適切かつ客観的に実施できるように書式等の見直しなどを検討していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		独自のアセスメントツールを使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			項目毎に具体的に記載し設定しています。適切な設定になっているかは、アセスメント等の方法を都度、振り返る必要がある
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日々の児童の様子を確認し、取り組み、評価を行いながら支援を行っています。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		児童発達支援管理責任者が立案しています。立案段階で、現場職員と相談、意見交換を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節を感じられる内容や、個々に合わせた活動を組み合わせています。児童の様子を見て、楽しめるように得意、不得意なども踏まえて振り返りながら立案しています。また、週の中で同じ活動が重ならないように設定し、経験のある活動を中心に少しずつ新しいものを取り入れ、活動に対し不安を持たないように立案しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			利用時間に合わせて、個別、集団活動を組み合わせています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			1週間ごとに担当を振り分け、事前に役割分担や準備を行っています。支援前、支援後、取り組み過程で状況について情報交換や課題などを共有しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その都度実施しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の日誌の記録の他、活動プログラムの反省評価を1週間ごとに各職員で実施。又1か月の反省評価を実施しながら支援の改善・検証に繋げています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画見直しの際に行っています。実施前には、活動プログラムの評価・反省をふまえ、職員間で共有し、児童発達支援管理責任者が作成しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保護者の方を通して必要な情報共有や連携を図るよう努めています。また、定期的に相談室との情報交換を行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童はいません。看護職員を配置していないため、現状は受け入れる事はできません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童はいません。看護職員を配置していないため、現状は受け入れる事はできません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	必要な際には、保護者の方を通して引継ぎシートを提供していただき、情報共有を図っているが継続的に話し合える関係を作っていく必要がある。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	必要な際には、保護者の方を通して引継ぎシートを提供していただき、情報共有を図っているが継続的に話し合える関係を作っていく必要がある。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センターの研修や地域マネジメント事業による訪問にて助言を受けるなど関係性を築けるようにしていたが、感染予防の為、研修へは参加しておらず、事業所訪問は電話での情報交換に留まっています。また、児童発達支援センター主催の動画配信を使用し、内部研修を実施しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	実施していない。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子も子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	実施していない。今後の検討課題となっています。
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や計画内容の租団、現状の把握に努めています。必要な際には、電話連絡にて共通理解を深められるように努めています。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		まだまだ知識が足りないと感じています。研修等に参加し、知識を深め、保護者の方の力に慣れるよう務めていく必要がある。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしています。質問等がある際には、早急に返答できるように努めています。
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			契約時や更新月の前月に児童発達支援管理責任者が説明をし同意を得ています。意見や要望があればその都度職員間で共有し、療育に取り入れています。
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		必要によって行っていますが、十分な助言等の支援が出来ていないと感じています。保護者の方との関係性を築き力になれるよう努めてまいります。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施していない。今後の検討課題となっています。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や要望等の申し入れがあった際には、迅速に対応するように努めています。苦情解決体制については、契約時に重要事項説明書を用いて説明をしています。
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3か月に1度発行をしています。行事については現在中止していますが、再開の目途がたった際にはお便りの発行をしていきます。また、連絡体制など、施設概要について記載していく必要が
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報が入ったファイルは鍵付きの書庫に保管しています。個人情報の取り扱いに関し、職員への周知徹底をしています。
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童へは分かりやすい声掛けや視覚支援を取り入れています。保護者の方への情報伝達は誤解や伝え漏れがないように努めています。
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	避難訓練の際には、町内会の方が参加して下さっていますが、現在は、感染予防の為、案内の配布を中止しています。
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		火災想定での避難訓練は年2回必ず実施しています。災害訓練はマニュアルは策定していますが訓練については未実施。
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○			服薬や予防接種、発作などの情報は契約時に必ず確認しています。又、突発的なアレルギー一症状など、普段と違う様子が見られた際にはご家庭の方へ連絡、確認や通院についての情報交換をしています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーについては保護者より情報を得ています。医師の指示書を用いた事はありません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		内容によっては、書面を用いて情報共有、検証を行っているが、ほとんどが口頭での情報共有となっている。ヒヤリハットに関しては情報共有や検証以外にも予防としての取り組みをしていく必要がある。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回内部研修を行っている。又、毎月、振り返りシートを用いて、職員個々の虐待防止・啓発に努めている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		対象となる児童はいない。虐待研修の中で、身体拘束については確認、周知している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。